

～下田のデキゴト～



9/28 委嘱状を交付しました！

かなざしあきお
金指明夫さん（白浜）が固定資産評価審査委員に選任されました。任期は令和8年9月28日までの3年間です。固定資産課税台帳に登録された評価額への不服申立てに対し、中立的な立場で審査していただきます。



10/2 下田中学校運動会

雨の影響で2日間延期された下田中学校運動会が10月2日に開催されました。平日での開催にも関わらず、多くの保護者が応援に駆けつけ、生徒たちはたくさんの声援の中、全力で競技に取り組んでいました。



10/4 備蓄用飲料水を寄贈いただきました

ダイドービバレッジサービス様から550ml入りの備蓄用飲料水を720本寄贈していただきました。平成18年から約2年に一度寄贈される飲料水は、災害時の飲料水として備蓄しています。



9/29 平山奏颯選手（空手）表敬訪問

ひらやまかなで
日本空手松濤連盟伊豆南支部の平山奏颯選手（稲生沢小3年）が、第24回松濤連盟全国空手道選手権にて、組手で3位、型でベスト8と好成績を収めたことを市長に報告しました。市長室では見事な型も披露しました。



10/2 新体力テスト実施！

下田小学校体育館にて、スポーツ庁が実施する令和5年度体力・運動能力調査に伴う『新体力テスト』が行われました。20歳～79歳までの市民34名が参加し、それぞれの年代に応じた種目に参加しました。



10/14 28年ぶりの交流試合

姉妹都市である沼田市で、市役所野球部が交流試合を行いました。沼田市とは蓮台寺温泉に伝わる天狗伝説と沼田市迦葉山弥勒寺の大天狗面から両市の交流が深まり現在も交流を行っています。

10月の できごと

2日 赤い羽根共同募金活動
5日 下田中学校職業講話
8日 しょういん探検隊

12日 日本赤十字献血
25日 親子和菓子作り教室
26日 市内小学校 音楽発表会

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



12月の予定

- 1日(金) 敷根公園で遊ぼう
- 2日(土) 開館日
- 6日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 7日(木) クリスマス会 10時30分～
- 8日(金) クリスマス会 10時30分～
＊午後閉館（清掃・消毒）
- 11日(月) 誕生会
- 13日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 15日(金) 親子で知育ヨガ（村瀬励子先生）
- 16日(土) 開館日
- 18日(月) 下田認定こども園交流
- 20日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 22日(金) わくわくタイム
＊午後閉館（清掃・消毒）
- 25日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
- 27日(水)～28日(木) 閉館（大掃除）
- 29日(金)～1/3(水) 年末年始休館

※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



たぬきの製作



めだかルーム

木々の葉が色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。一年の中でも過ごしやすいこの時期、戸外で秋の自然に触れながら遊ぶのも楽しいですね。また、お子さんと一緒に絵本を見る時間をつくってみてはいかがでしょうか。支援センターにも、絵本コーナーを設けています。また、小さなお友達も増えました。遊びにきてくださいね。



体育館で遊ぼう



誕生会

こんにちは、市長です

～天の邪鬼のつぶやき～



私には天の邪鬼のところがあ
り、例えば、人口減少が大問題だと言われると、明治以前の日本は3千万人くらいで安定していたと言ってみたり、観光客数の減少を強調されると、オーバーツーリズムの弊害を唱えたりと、異論反論をしかけたくなる。
この性格は幼少期からだ
と思う。当時わが家は家計が厳しかったので、周りの子どもたちが持っている玩具などを買ってもらえず、同じ遊びに加われない、異端という存在になることが時折あった。ところが、私はいつからかそれが苦にならなくなり、むしろ異端を楽しむようになった。自己防衛本能かもしれない。イソップ物語の「酸っぱいぶどう」のように。
幼稚園の頃の浮き輪の経験は今も忘れない。お友だちの浮き輪には流行りのマンガが描かれてカッコいいのに、私は何も描かれていない。そこで母にマジックでマンガを描いてもらった。「風のフジ丸」

とか「オオカミ少年ケン」とかだったように思う。私はそれを、これはお店で売ってないんだぞ、と誇っていた。嘘でなく本当にそう思った。
長じてからもその癖は抜けず、今も他の自治体ややっているからという理由で政策を実施することには抵抗がある。ふるさと納税にせよ、移住政策にせよ、今、流行りの政策に対してもついアンチテーゼを思いついてしまう。その理論を構築している柱の1本1本をペタペタ叩いて、これ大丈夫かなと確かめずにいられないのだ。そして、時々、市役所の幹部会議の議題に乗せ、幹部職員は、私が示すアンチテーゼに対して自分なりの考えや意見を言うことになる。そしてその時間を、私はとても大切にしている。議論を重ねて、皆で課題を乗り越える。しかして市役所の体質を強化する、さらには、下田市の政策を骨太にするといったことが私の責務だと考えています。